



学校だより1月号

令和6年 1月9日

横浜市立新田小学校

あらた とし はじめ はつはる きょう ふる ゆき よごと
新しき 年の初めの 初春の 今日降る雪の いやしけ吉事

校長 村岡 靖

令和6年がスタートしました。年の初めにあたりまして、新田小の子どもたちや保護者の皆さま、地域の皆さまのご多幸を心よりお祈り申し上げます。元日に能登半島地震が発生しました。お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

先日、3年生が森永工場見学に行ってきました。マナーを守ってとても立派な態度で見学できました。その後三ッ池公園に行ってお弁当を食べてみんなで遊びました。晴天の12月、自然豊かな公園で子どもたちはとても楽しそうでした。

あるグループは何をして遊ぶか、話をしていました。みんなは鬼ごっこをしたいのですが、一人だけ「他の遊びをやりたい」と主張していました。どうするのかと見ていると、中心になっていた男の子が、自分は鬼ごっこをやりたいかたののですが「じゃあまずは他の遊びをしよう。」と言いました。他の遊びが終わってから、中心になっていた男の子は「次は鬼ごっこね。」と言いましたが、一人の子はまだ他の遊びを続けたいと言いました。何かこだわりがあるのかもしれません、鬼ごっこならやらないぞ、というようなかたくなな様子でした。中心になっていた男の子は「最初は君がやりたいかたのものをみんなでやったから、次はみんなで楽しく鬼ごっこをしよう！ね！」と笑顔で明るく言いました。こだわっていた子も何か気づいたようで、「うん」と元気に言って、一緒に楽しく鬼ごっこを始めました。

学習指導要領では、学校教育を「知識・技能」の習得にとどめることなく、粘り強く問題解決に取り組む力や感情の自己調整能力、複雑な対人関係に対応する力をも含む「学びに向かう力・人間性等」も育成することとしています。

自分とは異なる意見を持っている人と協働するとき、自分の意見だけを無理に通そうとしてはダメですよね。でも逆に自分の意見を押し殺してすべて相手の言いなりになるのも建設的ではありません。これからの多様性に時代には、お互いの意見を出し合って、調整していく能力が必要になってくるのです。

年末に面談したあるお母様から感動的なお話を伺いました。そのお子さんは、自分の特性に苦しんでいましたが、先輩のスピーチをきっかけに、勇気をもって大きく成長し、困難を乗り越えることができたそうです。元来、子どもは全て、よりよく成長したいと思っています。子どもの自ら成長しようとする力を信じて、職員一同力を合わせて努力してまいります。本年もどうぞよろしく願いいたします。